

博物館の桜まつり

平成29年3月25日(土)
～4月3日(月)

郷土博物館では、「博物館の桜まつり」を開催します。

葛西用水から博物館にかけて咲き誇る見事な桜をご覧ください。

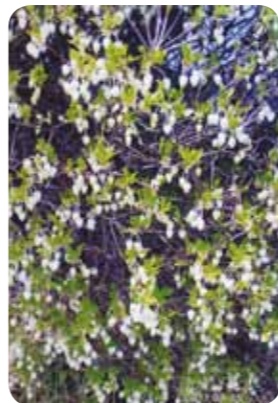
※期間中は、無料公開&月曜開館
※日程変更の場合あり

東淵江庭園に咲く花

～冬・春～

東淵江庭園では、四季折々の花が楽しめます。庭園に咲く季節の花を探しながら庭園を散策されてはいかがでしょうか。

【ドウダンツツジ】



「ドウダン」は灯台から転じています。

【ウメ】



色鮮やかに咲き誇ります！

郷土博物館トピックス

足立区ゆかりの作品が
日本各地を巡ります！

郷土博物館で今年3月中旬から5月下旬にかけて開催した文化遺産調査特別展「美と知性の宝庫 足立」で展示した6作品が10月30日までサントリー美術館で開催された「鈴木其一(きいつ) 江戸琳派(りんぱ)の旗手」展で出展されました。

この展示は、巡回展で11月には姫路市立美術館、平成29年1月には京都の細見美術館でも出展される予定です。

中でも「正月飾り物(かざりもの) 図」(合筆)は、其一の最も初期の作品であることが判明し非常に重要な資料で千住の野菜問屋の主人であった坂川屋鯉隠も図の中にある木の板を描いています。

其一は、江戸琳派の祖、酒井抱一(ほういつ)の弟子として、近年特に注目されています。

〈好評発売中〉



▲文化遺産調査特別展「美と知性の宝庫 足立」展示図録(価格600円)



▲「正月飾り物図」(個人蔵)

足立区立郷土博物館だより71

2016.11

ADACHI MUSEUM
足立区立郷土博物館

足立区
登録番号 28-296

開館30周年記念

文化遺産調査企画展

「アラサーみゅーじあむ

モノがたり」

△前期▽

平成28年11月1日(火)

～12月4日(日)

△後期▽

平成29年1月5日(木)

～1月29日(日)

※館内工事による臨時休館期間

12月5日(月)～平成29年1月4日(水)

足立区立郷土博物館は、昭和61(1986)年11月に開館してから今年で30周年を迎えます。

これまでに多くの皆様にご協力いただきました。こうした協力があって、郷土博物館は、足立区の歴史的な文書、民俗、美術の貴重な遺産を後世に伝える役割を果たしています。

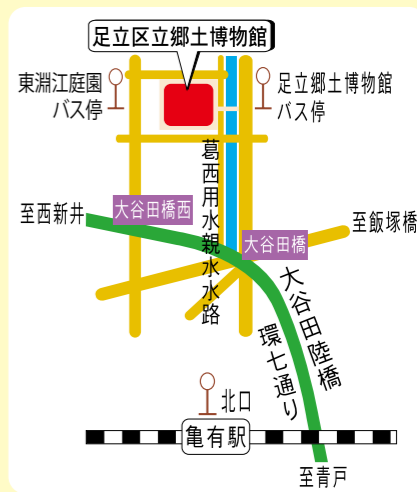
本展覧会では、いくつかの貴重な収蔵品を特別公開し、博物館の「研究」、「保存」、「収集」の機能と、郷土博物館が収蔵するに至った「きっかけ」や協力していただいた際のエピソードをご覧ください。



記念修復公開作品 建部巢光筆
吉野山桜竜田川紅葉図屏風



河鍋晩斎筆 能楽図屏風
明治初期 二曲一双



開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、平成28年12月5日～平成29年1月4日(工事休館及び年末年始)
入館料 一般200円(高校生以上)
団体(20名以上)は半額
70歳以上は無料
障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料
5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日
第2・第3土曜日は無料公開日
交通案内 JR 亀有駅北口
東武バス 八潮駅南口行・足立郷土博物館 下車 徒歩1分
六ツ木都住行・東淵江庭園 下車 徒歩4分
千代田線綾瀬駅西口
東武バス 六ツ木都住行・東淵江庭園 下車 徒歩4分
駐車場有

足立区立郷土博物館 〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1 TEL (03) 3620-9393
FAX (03) 5697-6562

再生紙を使用しています。

文化遺産調査特別展 「千ヶ崎悧六―与謝野晶子を 支えた歌人画家―」

平成29年3月19日(日)

5月21日(日)

足立区花畑の歌人にして画家であった千ヶ崎悧六は、一時代を築いた芸芸雑誌『明星』の後継誌として与謝野鉄幹主宰のもと創刊された『冬柏』の編集発刊を担うなど、与謝野夫妻の活動を支え、与謝野夫妻の没後は、新詩社の歌人たちの牽引者の一人として指導的立場に立ちました。

与謝野晶子の周辺歌人としてその存在と活動の重要性は認識されつつも、その活動実態が言及される機会のなかった千ヶ崎悧六ですが、本



写真「昭和14年11月 伊香保にて
絵を描く悧六と与謝野晶子」



千ヶ崎悧六 筆「江村残雪」

展覧会では、その歩んだ足跡と功績を明らかにするとともに与謝野夫妻・石井柏亭との交流によってもたらされた作品や資料を初公開します。

◆千ヶ崎悧六が描いた 「与謝野晶子臨終の像」

昭和17(1942)年5月29日、与謝野晶子は、64歳の生涯を閉じました。病床の晶子のもとには石井柏亭、有島生馬、正宗得三郎といった晶子と親交の深い画家たちが訪れ、その姿を描きましたが、悧六も臨終時の晶子の姿を水彩画で描きました。

《与謝野晶子臨終の像》と名付けられたこの作品は、与謝野晶子没時の姿を記録した大変貴重な資料です。



千ヶ崎悧六「与謝野晶子臨終の像」

博物館イベント インフォメーション

◆じんがんなわ

足立区指定民俗文化財「じんがんなわ」の見学会を開催します。

日時 平成29年1月9日(月・祝)

午前8時から正午

※わらへび作り見学は、午前10時から
会場 大乗院(足立区保木間2-14-5)
申込 不要 当日直接会場へ



▲魔除けのためにわらへびを作って、木の上にかかげるお祭りです。

◆初釜の会

日時 平成29年1月14日(土)

午前10時30分から

会場 臨瀨亭(りんえんてい)

※先着100名様に整理券を配付
※初釜とは、新年最初に行つお茶会のこと
で新年をお祝いするために行います。

◆郷土芸能鑑賞会

足立区郷土芸能保存会に所属する団体がお囃子等の演奏を行います。

日時 平成29年1月14日(土)午前11時から

会場 郷土博物館中庭



▲お囃子を演奏している様子

ミュージアムグッズ 好評販売中

郷土博物館では、クリアファイルやポストカードなどさまざまなミュージアムグッズを販売しています。
当館にお立ち寄りの際は、お気軽にお買い求めください。主なグッズについては、下記の一覧表でご確認ください。

主なミュージアムグッズのご紹介

グッズ名	作品名	内容	価格(円)
ポストカード	猛虎図	谷文晁に学んだ江北の 鮎津文淵の作品	50
クリアファイル	十二カ月花卉図屏風 四季草花人物屏風	村越向榮筆の二種類の 屏風から、タチアオイ・ アジサイ・朝顔と夏の花 をあしらいました。	100
シール	東海道五十三疋 ねこづくし	さまざまな猫を描いた浮 世絵からかわいい姿を ピックアップしました。	200

郷土博物館の
オリジナルグッズ
お買い得です!



郷土博物館Q&A くん蒸(館内消毒)

郷土博物館では、毎年6月下旬から7月上旬にかけて館内消毒のため休館していることをご存知でしょうか。

この館内消毒のことを博物館では、「くん蒸(じょう)」と呼んでいます。

ではなぜ、くん蒸を行う必要があるのでしょうか。博物館で保管している資料は、木や紙でできたものが多く、こうした資料を良い状態で保ち続けるためには、これらを餌としている文化財害虫から資料を守ったり、カビが生えることを防がなければなりません。

そのために、ガス状の薬剤を散布して収蔵庫ごとに全館のくん蒸を行い、殺虫・殺菌をしています。初夏に行うのは、虫やカビの活動前におさえるためです。作業は大がかりなもので数日を要するため、休館して実施しています。



◀サンプルの害虫が死滅しているか職員がチェックします



◀くん蒸ガスを発生させる機械



◀巨大ファンを使って排気